

編 集 後 記

今回の紀要は三重大学留学生センターの第一号の紀要である。その作成の第一歩は投稿規定を作ることにあった。編集委員会、留学生センター教員会議、留学生センター運営委員会での修正、承認を経て、次に投稿を呼びかけた。更に、集まった投稿を吟味し（諸般の理由から編集委員会の決定によって採用されなかったものもあった）校閲、校正、煩瑣な作業（レイアウト、執筆者一覧、目次等についての内容、形式両面での細々とした作業）を経てようやく紀要の第一号ができあがった。

紀要に掲載された内容は日本人と外国人の異文化交流に視点を置いたものから、三重大学でのマレーシア政府派遣留学生の受け入れについて書かれたもの、日本語と中国語の対照表現論、日本語の学習困難度について論じたもの、コミュニケーション対立を扱ったもの、より教育実践に重点を置いたもの等、多岐にわたる。それぞれの論文執筆者の生の一部はその研究と執筆によって費やされた。その意味で、この紀要は執筆者各々にとってかけがえのない生の軌跡の一部である。

今後の課題としては研究論文と研究報告のちがいを明示的に打ち出すかどうかということがある。ただ、日本語教育とそれを取り巻く環境はタコ壺的エトスを許容するものでもなく、関連する研究も必ずしも従来の枠組みで把握できるものばかりではない。そのことにも深く留意する必要がある。

今後の課題は今後の課題として、ともかく、三重大学留学生センターの紀要第一号はできあがった。新しいものを作るということは本当に勉強になるものです。最後に、陰に陽に御協力いただいた関係各位の皆様方に心より御礼を申し上げます。
(藤 田 昌 志)

三重大学留学生センター紀要 第1号

1999年3月20日 印刷

1999年3月25日 発行

編集委員：藤 田 昌 志
加賀美 常美代
山 本 覚

発行者 三重大学留学生センター
〒514-8507 三重県津市上浜町1515

印刷所 伊藤印刷株式会社
〒514-0027 三重県津市大門32-13
TEL 059 (226) 2545 FAX 059 (223) 2862